

# 令和2年度修学旅行

長野県長野市・千曲市方面  
令和2年10月15日(木)~16日(金)

## 《修学旅行のコース》 長野県長野市・千曲市方面

### 【1日目(10/15)】

- ① 科野の里歴史公園〔科野のムラ、長野県立歴史館、森将軍塚古墳、森将軍塚古墳館〕
- ② フォレストアドベンチャー長野 飯綱高原
- ◎ ロイヤルホテル長野（宿泊）

### 【2日目(10/16)】

- ① 善光寺、仲見世通り
- ② 城下町 松代〔松代城跡、真田邸、文武学校、象山地下壕、松代町内班別自由行動〕

### 【1日目(10/15)】

- ① 科野の里歴史公園〔科野のムラ、長野県立歴史館、森将軍塚古墳、森将軍塚古墳館〕

**【科野のムラ】** この地で発掘された、古墳時代中ごろのムラを復元したもの。社会科で学習した竪穴住居や高床倉庫などを、実際に目で見て確かめることができました。



**【長野県立歴史館】** ナウマンゾウや善光寺門前をはじめとする実物大の環境復元が見事で、近くで出土した古代人の人骨も印象に残りました。みんな熱心にメモを取りながら説明を聞いたり、展示物を見たりしていました。次の日に行く善光寺の事前学習としても役立ちました。





**[森将軍塚古墳]** <sup>もりしょうぐんづかこふん</sup> <sup>しゃかい</sup> <sup>きょうかしよ</sup> <sup>の</sup> <sup>こふんじだいぜんき</sup> <sup>だいひょうてき</sup> <sup>ぜんぼうこうえんふん</sup> <sup>やま</sup> <sup>ちゅうぶく</sup> 社会の教科書にも載ったことのある、古墳時代前期の代表的な前方後円墳。山の<sup>せま</sup> <sup>きゆう</sup> <sup>おね</sup> <sup>うえ</sup> 狭くて急な尾根の上にあるため、いびつな<sup>かたち</sup> 形をしています。みんな、<sup>ぜんちようやく</sup> 全長約100mというスケールの<sup>おお</sup> <sup>おどろ</sup> 大きさにとても驚いていました。古墳からの<sup>こふん</sup> <sup>ぜんこうじだいら</sup> <sup>なが</sup> 善光寺平の眺めは、まるで<sup>ちゆう</sup> <sup>り</sup> 宙に浮いているかのようでした。



**[森将軍塚古墳館]** <sup>もりしょうぐんづかこふんかん</sup> <sup>もりしょうぐんづかこふん</sup> <sup>たてあなしせきしつ</sup> <sup>じつぶつだい</sup> <sup>こふんけんがく</sup> <sup>とき</sup> <sup>じっさい</sup> <sup>ば</sup> 森将軍塚古墳の<sup>しよ</sup> <sup>かくにん</sup> 竪穴式石室の<sup>あたら</sup> <sup>きぼ</sup> <sup>いしぐ</sup> <sup>ようす</sup> <sup>おどろ</sup> 実物大レプリカがあります。古墳見学の時に<sup>や</sup> <sup>またいこくかんれん</sup> <sup>はなし</sup> <sup>なか</sup> 実際の場<sup>を</sup> <sup>で</sup> 所を確認してきましたが、改めてその<sup>さんかくぶちんじゆうきよう</sup> <sup>しゅつど</sup> 規模や石組みの様子に<sup>せつめい</sup> <sup>き</sup> 驚かされました。邪馬台国関連の話の中<sup>を</sup> <sup>き</sup> によく出てくる「<sup>さんかくぶちんじゆうきよう</sup> 三角縁神獣鏡」もここから出土したそうです。その説明を聞いているところです。



## ② フォレストアドベンチャー長野 飯網高原

<sup>ちじようやく</sup> <sup>たか</sup> <sup>くうちゆう</sup> <sup>たの</sup> <sup>しせつ</sup> <sup>とく</sup> <sup>だいざほうしけ</sup> <sup>こ</sup> <sup>ほん</sup> 地上約10mの高さの空中アスレチックが楽しめる施設。特に大座法師池を越える4本のジップスライ<sup>なが</sup> <sup>やく</sup> <sup>そうかい</sup> <sup>ひさ</sup> <sup>こころ</sup> <sup>かいほう</sup> <sup>こ</sup> <sup>すがた</sup> <sup>み</sup> <sup>ゆうき</sup> ド(長さ約150m)は爽快で、久しぶりに心が解放され、はしゃぐ子どもたちの姿が見られました。勇気をもって<sup>いっぽふ</sup> <sup>だ</sup> <sup>たいせつ</sup> <sup>じっかん</sup> <sup>ともな</sup> <sup>りかい</sup> <sup>すば</sup> <sup>たいけん</sup> 一歩踏み出すことの大切さも実感を伴って理解でき、素晴らしい体験となりました。







## ◎ ロイヤルホテル長野

ながのしまつしろまち ながの まえ た しゅくはく したみ う あ  
 長野市松代町にある、長野オリンピックの前に建てられたリゾートホテルに宿泊しました。下見で打ち合  
 わせにうかがったときから感染症予防対策がしっかりとられているのが分かったので、あんしん しゅくはく  
 した。しょうにんずう へ や しゅくはく かいてき す  
 した。少人数の部屋に分かれての宿泊でしたが、とても快適に過ごせました。



## 【2日目(10/16)】

### ① 善光寺・仲見世通り

ひと ぜんこうじ まい い じぜん がくしゅう てら れきし おも だ さんばい みつ  
 人はなぜ善光寺にお参りに行くのか…事前に学習した寺の歴史を思い出しながら参拝をしました。密  
 をさけるためはや じかんたい い ひと ひと かいだん かんせんしょうたいさく よわ あ  
 を避けるため早めの時間帯に行ったので、まだ人もまばらでした。お戒壇めぐりは、感染症対策で弱い明  
 かりがともっていたものの、こ どもたちにとって十分に印象に残る体験だったようです。

さんばい あと なかみせとお はんべつこうどう みやげ か ある かのもの じかん  
 参拝の後は仲見世通りで班別行動。お土産を買ったり、食べ歩きをしたりしました。買い物に時間のか  
 かっているとも なご ふんいき ま すかた ねんせい あらわ  
 かっている友だちを和やかな雰囲気です待ってあげている姿に、6年生のよさがよく表れていました。





② 城下町 松代 [松代城跡、真田邸、文武学校、象山地下壕、松代町内班別自由行動]

二日目の午後は、真田家10万石の城下町として多くの史跡や文化が残る長野市松代町を巡りました。

**[松代城跡]** 松代藩の初代藩主として礎を築いたのは、真田信繁(幸村)の兄で元沼田藩主の真田信之公です。本校のある長野原もかつて真田氏の領地であったことから、縁を感じながら城跡を見学しました。



真田邸と文武学校は室内の見学になるので、密を避けるために二つの班に分かれて見学をしました。

**[真田邸]** 松代藩の城外御殿で、当時のままに残った貴重な建物。子どもたちは、御殿造りの特徴である「表」(公的な場所)と「奥」(私的な場所)の違いを実際に見て確かめたり、回遊式庭園の美しさにしばし見惚れたりしていました。



**[文武学校]** 幕末に建てられた松代藩の藩校で、現在も開校当時と同じ配置で建物が残されています。

耐震工事のためしばらく休館していましたが、運よく10月1日にリニューアルオープンしたため見学することができました。当時ここでどんなことを学んでいたのか、想像しながら建物をまわりました。





**[象山地下壕]** 太平洋戦争末期に、日本の政府中枢機能移転のために、松代地区の地下に極秘で掘られた地下坑道跡(松代大本営跡)の一つ。感染症対策のため、通学でかぶっている自分のヘルメットを持参して地下壕に入りました。事前学習をしていきましたが、実際に目にするその規模の大きさに驚かされ、歴史の重みなど多くのことを感じ取ってきました。



**[松代町内班別自由行動]**

修学旅行最後の活動は、城下町松代を巡る班別自由行動。観光イベント「真田家ゆかりの寺巡りスタンプラリー」と「六文銭食べ歩きチケット」に参加しながら、事前に立てた計画に沿って地図を片手に松代の町を散策しました。どの班も仲良く協力して目的を達成でき、修学旅行の締めくりにふさわしい楽しい思い出になりました。



真田家ゆかりの六つの寺を、手ぬぐいにスタンプを押しながら回りました。



あんず姫(豊姫)の寺 恵明寺



バナナの実がなっていた蓮葉寺



真田氏発祥の地ゆかりの願行寺



真田家の菩提寺 長国寺



魚籃観音で名高い梅翁院



小松姫の菩提寺 大英寺





## 〈おわりに〉

10月に延期されていた修学旅行ですが、新型コロナウイルスの流行が続いている中、予定されていた東京・鎌倉方面での実施が困難になりました。これまでいろいろな面で我慢をしてきた6年生にとって、楽しく、希望のもてる行事になることを願い、方面を変更して実施の可能性を探ってきました。

コースの選定にあたっては、現地の感染状況や混雑度、感染症対策、見学場所の価値、安全性、活動内容、所要時間、発熱等で迎えに来てもらう場合のこと、下見のしやすさなどの観点から総合的に判断し、最終的に7案ほど考えた中から今回のものを選択しました。実施計画を立てる際には、引率者全員で下見を行い活動場所の様子を細かくチェックするなど、念入りに準備を進めました。

コロナ禍で制限がある中ではありましたが、子どもたちが「全部思い出に残っている。」と言うように、どの活動も学びと楽しさが高いレベルで一体化していたことや、移動時間が短く各施設も近接して活動の時間がたっぷりとれたことなど、例年と比べても遜色のない充実した修学旅行になりました。

実施にあたっては、保護者の皆様や訪問先の方々をはじめ、たくさんの皆様方にご協力いただきました。本当にありがとうございました。